# 平成23年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年5月12日


上場会社名　株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所　　上場取引所　大
コード番号　4576　URL　http://www.dwti.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 日高　有一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務管理部長　(氏名) 橘　信綱　TEL 052-218-8785

四半期報告書提出予定日　平成23年5月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年12月期第1四半期の業績(平成23年1月1日～平成23年3月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年12月期第1四半期 | ― | ― | △98 | ― | △98 | ― | △98 | ― |
| 22年12月期第1四半期 | ― | ― | △95 | ― | △95 | ― | △95 | ― |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年12月期第1四半期 | △5.68 | ― |
| 22年12月期第1四半期 | △5.54 | ― |

### (2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年12月期第1四半期 | 888 | 868 | 97.8 | 50.16 |
| 22年12月期 | 990 | 967 | 97.6 | 55.85 |

(参考) 自己資本　23年12月期第1四半期　868百万円　22年12月期　967百万円

## 2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年12月期 | ― | 0.00 | ― | 0.00 | 0.00 |
| 23年12月期 | ― | | | | |
| 23年12月期(予想) | | 0.00 | ― | 0.00 | 0.00 |

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無

## 3. 平成23年12月期の業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | ― | ― | △205 | ― | △205 | ― | △205 | ― | △11.89 |
| 通期 | 132 | ― | △324 | ― | △323 | ― | △325 | ― | △18.80 |

(注)当四半期における業績予想の修正有無　無

4. その他　（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　無

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 23年12月期1Q | 17,318,900株 | 22年12月期 | 17,318,900株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年12月期1Q | ―株 | 22年12月期 | ―株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 23年12月期1Q | 17,318,900株 | 22年12月期1Q | 17,273,900株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1.　当四半期の業績等に関する定性的情報 ……2
(1) 経営成績に関する定性的情報 ……2
(2) 財政状態に関する定性的情報 ……3
(3) 業績予想に関する定性的情報 ……4
2.　その他の情報 ……4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 ……4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 ……4
3.　四半期財務諸表 ……5
(1) 四半期貸借対照表 ……5
(2) 四半期損益計算書 ……6
【第１四半期累計期間】 ……6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 ……7
(4) 継続企業の前提に関する注記 ……8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8

## 1.　当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第１四半期会計期間における国内経済は、新興国向け輸出に牽引され、緩やかな回復過程にあったものの、東日本大震災の発生による被害に加え、原発問題、エネルギー供給問題などに見舞われ、景気は急速に冷え込みつつあります。

国内医薬品業界におきましては、医療費抑制政策の推進、大型新薬不足の中での有望な医薬候補品獲得が新薬開発企業の重要課題となっており、医薬候補品獲得に向けた事業提携やライセンス活動が活発に行われております。

このような状況の下、当社は新薬の継続的な創出とパイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

ライセンスアウト済パイプラインにつきましては、ライセンスアウト先の興和株式会社により実施された抗血小板剤「K-134」の米国前期第Ⅱ相臨床試験、及び緑内障治療剤「K-115」の国内第Ⅱ相臨床試験が終了したほか、「K-134」の国内前期第Ⅱ相臨床試験は当第１四半期会計期間において目標症例数の投与が完了(投与後の観察も終了)いたしました。

新規開発品につきましては、新規緑内障治療剤につき作用メカニズムの解明を進める一方、ライセンスアウトに向けた活動を進めました。また、シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにつきましては、リード化合物の選定に向けた研究開発活動を実施いたしました。

なお、ライセンスアウト済パイプラインである、「K-134」、「K-115」はともに、当第１四半期会計期間において新たなマイルストーン収入の発生がなかったことから売上高は発生しておりません。

利益面につきましては、研究開発費が46百万円（前年同期比9.1%増）、その他販売費及び一般管理費が52百万円（前年同期比2.0%減）であったことにより、販売費及び一般管理費は98百万円（前年同期比2.9%増）となりました。その結果、営業損失は98百万円（前年同期営業損失95百万円）、経常損失は98百万円（前年同期経常損失95百万円）、四半期純損失は98百万円（前年同期四半期純損失95百万円）となりました。

なお、当第１四半期会計期間における新薬候補化合物開発状況は以下の通りです。

① 新薬候補化合物開発状況

（イ）ライセンスアウト済パイプライン

| プロジェクト名 | 開発中の新薬(対象疾患) | 開発段階 | ライセンスアウト先 |
|---|---|---|---|
| K-134 | 抗血小板剤<br>(閉塞性動脈硬化症) | 国内前期第Ⅱ相臨床試験目標症例数投与完了<br>米国前期第Ⅱ相臨床試験終了 | 興和株式会社 |
| K-115 | 緑内障治療剤<br>(緑内障) | 国内第Ⅱ相臨床試験終了 | 興和株式会社 |
| HMN-214 | 抗癌剤<br>(固形癌) | 米国第Ⅰ相臨床試験終了 | 日本新薬株式会社 |

（ロ）新規開発品

| プロジェクト名 | 開発中の新薬 | 開発段階 |
|---|---|---|
| 新規緑内障治療剤 | 緑内障治療剤 | 化合物最適化完了 |
| シグナル伝達阻害剤開発プロジェクト | 高血圧治療剤・神経保護剤・粥状動脈硬化治療剤・眼科関連治療剤・抗癌剤等 | 基礎研究 |

② 当期の業績の概況

（イ）売上高、売上原価

売上高及び売上原価はありません。

（ロ）販売費及び一般管理費、営業損失

a. 研究開発費

研究開発費は46百万円（前年同期比9.1%増）となりました。

これは主に、新規開発品の研究開発活動を進めたことによるものです。新規緑内障治療剤について作用メカニズムの解明を進める一方、ライセンスアウトに向けた活動を進めました。また、シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにつきましては、リード化合物の選定に向けた研究開発活動を実施いたしました。

なお、当社のパイプラインである「K-134」、「K-115」、「HMN-214」の研究開発費は、ライセンスアウト先の資金により賄われており、当社において研究開発費負担は発生しておりません。

b. その他販売費及び一般管理費

その他販売費及び一般管理費は経費削減に努めたことにより、52百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

これらにより、営業損失は98百万円（前年同期営業損失95百万円）となりました。

（ハ）経常損失、四半期純損失

経常損失は98百万円（前年同期経常損失95百万円）、四半期純損失は98百万円（前年同期四半期純損失95百万円）となりました。

**(2) 財政状態に関する定性的情報**

① 資産、負債及び純資産の状況

当第１四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末から102百万円減少し、888百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が前事業年度末に比べ112百万円減少したこと等によるものです。

なお、総資産に占める流動資産の比率は当第１四半期会計期間末97.7%、前事業年度末97.8%であります。

負債は、前事業年度末から３百万円減少し、19百万円となりました。主な要因は未払法人税等が１百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、前事業年度末から98百万円減少し、868百万円となりました。これは、四半期純損失の計上により、利益剰余金が98百万円減少したことによるものです。

なお、借入金や社債等の有利子負債残高はありません。

また、負債純資産合計に占める純資産の比率は当第１四半期会計期間末97.8%、前事業年度末97.6%であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第１四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ112百万円減少し、150百万円となりました。

なお、当第１四半期会計期間におけるキャッシュ・フローの状況と要因は次の通りです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は111百万円（前年同期比５百万円減）となりました。これは税引前四半期純損失が98百万円あったこと、産学官連携講座にかかる共同研究費の支払等により、前払費用の増加額10百万円があったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は0.4百万円（前年同期比0.2百万円増）となりました。これは差入保証金の差入による支出0.5百万円があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローはありません。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

当事業年度の業績につきましては、平成23年２月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第１四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

なお、これによる損益への影響はありません。

## 3. 四半期財務諸表

### (1) 四半期貸借対照表

（単位：千円）

| | 当第１四半期会計期間末<br>（平成23年３月31日） | 前事業年度末に係る<br>要約貸借対照表<br>（平成22年12月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 830,340 | 942,692 |
| 有価証券 | 20,023 | 20,020 |
| 原材料及び貯蔵品 | 616 | 624 |
| 前払費用 | 14,422 | 4,149 |
| その他 | 2,577 | 1,901 |
| 流動資産合計 | 867,980 | 969,388 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 10,490 | 11,749 |
| 無形固定資産 | 491 | 536 |
| 投資その他の資産 | 9,670 | 9,212 |
| 固定資産合計 | 20,652 | 21,497 |
| 資産合計 | 888,633 | 990,886 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払金 | 10,202 | 11,721 |
| 未払法人税等 | 1,556 | 3,327 |
| その他 | 8,071 | 8,660 |
| 流動負債合計 | 19,831 | 23,709 |
| 負債合計 | 19,831 | 23,709 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,279,352 | 1,279,352 |
| 資本剰余金 | 1,269,352 | 1,269,352 |
| 利益剰余金 | △1,679,902 | △1,581,528 |
| 株主資本合計 | 868,802 | 967,176 |
| 純資産合計 | 868,802 | 967,176 |
| 負債純資産合計 | 888,633 | 990,886 |

## (2) 四半期損益計算書

【第１四半期累計期間】

（単位：千円）

| | 前第１四半期累計期間<br>（自　平成22年１月１日<br>至　平成22年３月31日） | 当第１四半期累計期間<br>（自　平成23年１月１日<br>至　平成23年３月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | － | － |
| 売上原価 | － | － |
| 売上総利益 | － | － |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 研究開発費 | 42,285 | 46,121 |
| その他 | 53,672 | 52,606 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 95,958 | 98,728 |
| 営業損失（△） | △95,958 | △98,728 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 442 | 287 |
| 試薬品収入 | － | 300 |
| その他 | 60 | 13 |
| 営業外収益合計 | 503 | 601 |
| 経常損失（△） | △95,455 | △98,126 |
| 税引前四半期純損失（△） | △95,455 | △98,126 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 238 | 246 |
| 法人税等合計 | 238 | 246 |
| 四半期純損失（△） | △95,693 | △98,373 |

### (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前第１四半期累計期間<br>（自　平成22年１月１日<br>至　平成22年３月31日） | 当第１四半期累計期間<br>（自　平成23年１月１日<br>至　平成23年３月31日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純損失（△） | △95,455 | △98,126 |
| 減価償却費 | 1,660 | 1,303 |
| 受取利息及び受取配当金 | △442 | △287 |
| 為替差損益（△は益） | △5 | △9 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | 2 | 7 |
| 前払費用の増減額（△は増加） | △7,899 | △10,273 |
| 未収消費税等の増減額（△は増加） | △1,804 | △32 |
| 未払金の増減額（△は減少） | △3,945 | △1,518 |
| その他 | △8,092 | △2,036 |
| 小計 | △115,983 | △110,974 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3 | 12 |
| 法人税等の支払額 | △1,029 | △938 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △117,009 | △111,899 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △105 | － |
| 差入保証金の差入による支出 | △120 | △558 |
| 差入保証金の回収による収入 | － | 100 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △225 | △458 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | － | － |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 5 | 9 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △117,229 | △112,348 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 672,719 | 262,712 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 555,489 | 150,364 |

### (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

### (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。